

NO.1407

3月19日号

発行所

日本共産党  
網走市委員会  
網走市北八西三  
四三二一四四八  
F四三二一四四七

憲法9条

日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。

# 敵基地攻撃能力保有と大軍拡の岸田政権に物申し、

# くらし・福祉優先の市政を！

## 市議会松浦議員の代表質問

3月10日（金）、令和5年度第1回定例会で、日本共産党議員団を代表して、松浦敏司議員は、水谷市長及び岩永教育長に13項目、41点について質問しました。

### 岸田政権の評価は？



質問の最初に、憲法違反の専守防衛をかなぐり捨てて大軍拡に走り、敵基地攻撃能力保有で、大幅な軍事費増に走り、いつでもアメリカと一体になり戦争に巻き込まれ

## これでいいの？大軍拡！⑤

ミサイル「トマホーク」400発を一括購入することを決定！その予算2113億ですから、1発なんと・・・5.2億円。

このトマホーク、スピードが遅く、迎撃されやすいというのが「特徴」だそうです。エッ!?

「なんでそんなミサイルを400発も買うの？」と誰しもが思いますよね！（つづく）



市長は「福島原発事故12年の傷はいえませんが、原子力規制委員会の意見を踏まえ、内閣の責任で適切に判断されているものと考えている」と答え、原発再稼働を容認する構えです。

### 国家予算の評価は？

さらに、異常な物価高に対応せず、社会保障費の圧縮や削減の一方、大幅な軍事費増に走り、くらし・福祉を顧みない『戦争国家づくり』の予算を市長はどう評価しているのか伺いました。

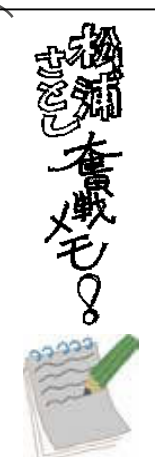
市長は「国防に関する諸問題については、国会における議論を通して行われている。地方の意見は、しっかりと国に伝えていく」と逃げの答弁に終始し、地域住民のくらし、福祉、営業を守る地方自治の首長として、国の悪政の防波堤となる姿勢は見られませんでした。

### 共産党は悪政の防波堤になる

質問の後、松浦議員は「専守防衛の憲法を投げ捨てて、敵基地攻撃能力の保有と5年で43兆円のもの軍事費拡大の岸田自公政権の暴走で日本のカタチが180度変えられようとしています。軍事費の大幅増は社会保障費をはじめとする施策の大幅削減が必至です。今こそ住民のくらし・福祉・営業を守る地方自治体の首長として姿勢が問われています。国に追随しないために、今こそ議会の力が試されています。今後、国会を通じて国の悪政の防波堤となるよう頑張ります」と決意を述べていました。

3項目以降の質問と答弁については、議会終了後、議員団で出している市議会だよりにて報告いたします。

昨日まで予算等審査特別委員会が開かれ、新年度の予算が審査されます。毎日質問しながら翌日の質問項目を提出するといふ厳しい日程となります。そのため毎日事務所夕食を取り、夜遅くまで翌日の質問項目について準備することになります。



第1回定例会も後半に入りましたが、今週は月曜日から金

## 流水

物価高騰は生活保護の利用世帯にも激烈な痛みとなつて襲いかかっています。ところが、

この期に及んでも財務省や厚労省は、現行の生活扶助費の水準は、保護を利用していない貧困世帯との関係でまだポイントが高いとし、そこに合わせるための保護費引き下げが必要だと言いつつ、実際に現下の物価高騰などもあり2023年の引き下げは行わない方向ですが、もともと現在の生活扶助費の水準は、2013年の削減により大幅に引き下げられたものです。▼生活保護基準引き下げ違憲訴訟（いのちのとりで裁判）では、その根拠とされた統計や指標がデータラメで、密室での決定過程も問題だらけであったことが5つの判決で認定され、原告勝訴の判決が出たことはご承知のとおりです。そうした違憲・違法の削減をしながら、「まだ削減が足りない」という厚顔無恥には驚くばかりです。▼70年代のインフレ、物価高騰時当時の政府は、年金だけでなく、生活保護基準も1年のうち何回も改定しました。これが当たり前前の政治のあり方です。

北見生活と健康を守る会  
副会長 神田 優

お詫び...3月12日号の「補正予算の概要」金額に誤りがありました。「ふるさと寄附金積立金」の2月末214億5585万円は、21億4558万円です。訂正し、お詫び申し上げます。